

平成24年度

事 業 計 画 書

# 目次

## 1 事業計画について

I／教育・大学改革	.....	1
II／財政改革		
III／人材育成・事務組織の改革		
IV／危機管理体制の整備		
V／学生募集の改善		
VI／学生支援の充実		
VII／国際教育センターの活動強化		
VIII／おばせキャンパス本館新築に伴う事務室、図書館等の移転		
IX／創立 60 周年・開学 45 周年記念事業		
X／教育研究における平成 24 年度重点目標の実現		

## 2 重点目標

.....	3
-------	---

# はじめに

少子高齢化、長引く経済の停滞、グローバル化の進展等の日本の社会構造の変化に伴い、学校法人の経営は厳しさを増しています。本学においても、平成23年度入試で定員割れとなり、特に一部の学科では70%を切るなど、経営基盤となる学生募集の改善が大きな課題となりました。

厳しい競争的環境の下では、効率化を柱とした合理的経営を不断に追求しなければなりません。同時に「社会構造の変化」に対応した教育を提供しなければ、学生や地域に評価されず、継続的に安定した経営に繋がりません。

本年度は、新たな発展の基盤となる「おぼせキャンパス新本館」が完成しますが、その投資効果を十分発揮するとともに、多様化した学生や社会のニーズの変化に対応するため、教育面での抜本的な改革に積極的に取り組みます。

## 1 平成24年度の事業計画

### I. 教育・大学改革

「全入時代」を迎えて多様化した学生や高等教育への社会のニーズに変化に対応するため、学園と大学が一体となって、抜本的な教育・大学改革を検討、実施します。

- (1) 他の教育機関との連携等の検討
- (2) 平成26年度の学部学科再編成の検討
- (3) 初年次教育・教養教育の再構築
- (4) 専門教育でのカリキュラム改革

### II. 財政改革

本学は平成21年度に中期経営目標を策定し、平成25年度での帰属収支均衡を目指しています。本年度は「おぼせキャンパス新本館」の完成に伴う設備、備品等の新規投資がありますが、他の部分では目標達成に向けて、次の施策を実施するとともに、メリハリを付けた予算執行や調達方法の変更等により、経費削減に努めます。

- (1) 学長査定特別予算のうち、重点設備予算等凍結
- (2) 事務予算の一律10%マイナスシーリング
- (3) 平成25年度の帰属収支均衡のための聖域なき経費削減策の検討

### III. 人材育成・事務組織の改革

事務部署間相互の連携と協働を強化して、生産性の向上を図るとともに、職員的能力向上に取り組みます。

- (1) 事務分掌の見直しと事務組織の改編
- (2) 事務室レイアウトの変更(効率化)
- (3) SDを目指した各種研修の実施

### IV. 危機管理体制の整備

本学を取り巻く様々な危機に的確に対応するため、危機管理体制の整備に取り組みます。

- (1) 危機管理マニュアルの整備と危機管理に対する啓蒙活動の実施
- (2) おぼせキャンパスでの防災訓練の実施

## V. 学生募集の改善

「学生募集」は経営の要であるとともに、その結果は本学に対する社会の評価に他なりません。本年度はその改善に向けて、教職員一丸となって取り組み、平成25年度の入学定員確保を目指します。

- (1) 学生募集対策会議の活性化
- (2) 高等学校へのアプローチ（出前講義、進学説明会、大学見学会等）の強化
- (3) 各種媒体を利用した募集広告、大学ホームページの改善
- (4) オープンキャンパスの改善

## VI. 学生支援の充実

授業以外の学生生活への支援は、学生の満足度の改善に寄与し、退学率が低下することが期待されます。また、就職氷河期と言われる環境下、学生への親切できめ細やかな就職支援は本学のセールスポイントとなっており、これを更に充実させることが本学への評価向上に繋がります。本年度は既存の学生サービス全般を見直し、学生生活の活性化や文化・スポーツ活動を支援する活動を強化します。

- (1) 奨学金制度の改正
- (2) 食堂、図書館等の施設の改善
- (3) 学生の諸活動への支援強化
- (4) 就職支援の強化（就職アドバイザー制度、求人企業開拓）

## VII. 国際教育センターの活動強化

外国人留学生は、本学の経営に大きな影響を及ぼす存在となっていますが、東北大震災や円高、及び他大学との競争の激化により、今後の留学生確保は予断を許さない状況になっています。本年度は国際教育センターが中心となって、募集活動を強化するとともに、留学生の満足度向上の観点から、学習面、就職活動等における留学生支援を充実します。

## VIII. おばせキャンパス本館新築に伴う事務室、図書館等の移転

おばせキャンパス新本館は11月頃に完成し、図書館、事務室等を移転しますが、かなりの作業量になることが予想されます。移転の遅延は、学生サービスの低下やA、B、C棟の解体工事の妨げになることから、綿密なスケジュール管理により、スムーズな移転を実現します。

## IX. 創立60周年・開学45周年記念事業

本年度は学園創立60周年、大学開学45周年に当たり、そのメインの記念事業として「おばせキャンパス新本館」を建設しますが、これに併せて各種の記念事業を実施します。また、本学のイメージアップを目指して、積極的な広報活動を展開します。

## X. 教育・研究における平成24年度重点目標の実現

（別掲）

## 2 平成24年度重点目標

### I. 建学の理念・目的

#### 建学の理念

「人間性に支えられた高度の工業技術者を、広く学術の研鑽を通じて育成する」

#### モットー

「人を育て技術を拓く」

「豊かな人間性の練成とすぐれた工業技術者の育成」

#### 目的（行動する目標）

- ・国際社会で、職場で尊敬され、頼りにされる高度技術者育成
- ・未知の分野に立ち向かうことの出来る気力と自信を持った技術者の育成
- ・世界に向かって「夢」を発信する西日本工業大学の建設

#### 教育方針

- ・徳育を最重点課題とし、知育、体育がこれを助ける教育の実施
- ・産業界を支える自立した実務型技術者・研究者・経営者・起業家の育成
- ・学生の長所を伸ばすきめ細かな教育の実現

### II. 中期目標

学生も教職員も、また地域社会も誇りに思う西日本工業大学の建設

- ・学生の目線での教育・学生支援の推進（人を育て技術を拓く）
- ・時代のニーズに応える学部・学科の構築
- ・大学院の充実と博士課程の設置を目指す
- ・産官民との連携強化による教育研究の活性化
- ・認証評価（平成27年度～平成33年度）に適合する
- ・創立50周年（平成29年度）を目途に本学のブランド築く

### III. 平成24年度の教育目標と実行目標

#### 教育方針

- －学生の目線での教育・学生支援の実施（人を育て・・・）－
- ・心の通う学生への対応／分かる授業の創造／適正な成績評価
- ・幅広い社会的見識（学士力、社会人基礎力）をもつ技術者の育成
- ・自信と困難にも挑戦する気力を持った若者の育成
- ・自分の頭で考え、創意工夫する若者の育成

#### 実行目標

- －精一杯の知恵と勇気で前進－
- －変化への迅速、的確な対応－
- ・総力をあげた学生募集と就職支援
- ・改善、改革の継続（教育の特色付け、初年次教育、研究環境、産学連携・地域貢献）

#### 昨年度からの継続

- ・学生の目線での教育・学生支援活動  
（授業アンケート・学生アンケートへの対応／分かる授業の創造／留年率・休退学率・卒業率の改善）
- ・授業科目の点検  
（本学の教育体制と社会のニーズ・学生の資質を考慮したカリキュラムの見直し〔スリム化〕）
- ・学生の科学技術活動の活性化と支援  
（科学技術活動のさらなる推進）
- ・教員による教育研究活動の活性化  
（科研費補助金の全員申請／外部研究資金の獲得）
- ・学部・学科構成に関する継続的検討／留学生受け入れとその教育に関する検討
- ・点検評価活動  
（次回の認証評価（平成27年度～平成33年度）への準備）